

株式会社ボスコ・テクノロジーズ


代表取締役

林 経正



アジェンダ

- ① 会社概要(特徴)
- ② 代表である林経正が大切にしていること
- ③ 蔵前ベンチャー賞で評価いただいた事業
「SMART Gateway」自社製品事業



① 会社概要（特徴）

会社概要

[経営理念]

- 技術で人を幸せにする
 - 自分が幸せ、家族・友人が幸せ、そしてお客様が幸せ

[業種]

- 情報通信分野(IT企業)

[特徴]

- 「仮想化」「自動化」「情報セキュリティ」技術に特化
- 社会インフラの基幹システム開発・運用
- 世界で類を見ない技術開発と製品化

会社設立までの経緯

[林の志向]

- イノベーションを起こしたい
- プラットフォーム事業、社会インフラ事業を創出したい

[これまでの経緯]

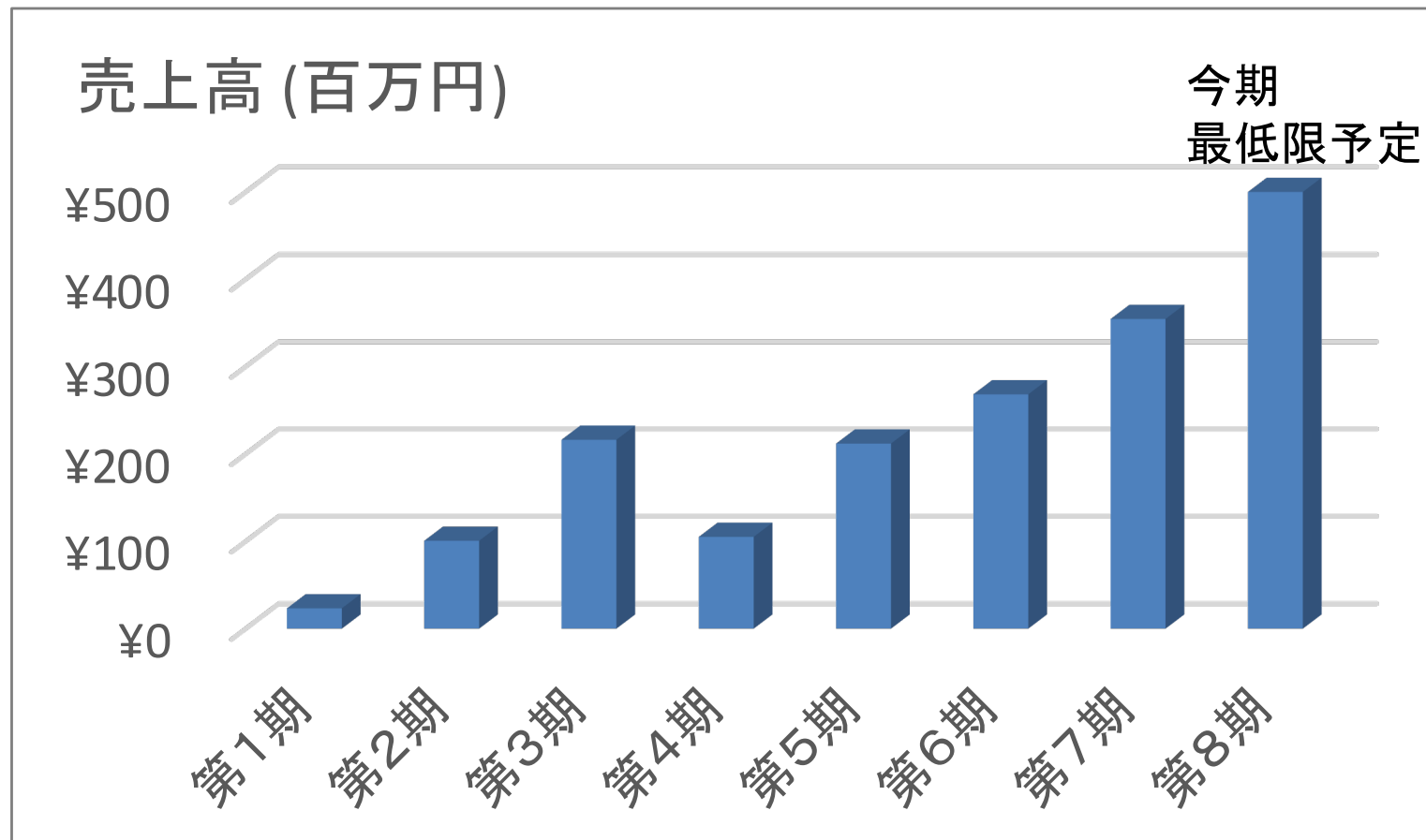
- 既存通信事業の破壊と新しい時代を予見【NTT時代】
- GAFAに潰されたビジネス【デジタルフォレスト時代】
- 面白い技術が売れない【クラウド・スコープ時代】
- 仮想化技術を徹底的に利用【起業】
 - 自動化、リソース割り当て最適化を追求

ボスコ・テクノロジーーズ事業のこれまで

- コンサルティング事業
 - 業界最大手企業の新事業の創出支援
 - 500億円規模の海外企業買収の支援
- 受託開発事業
 - 大手通信事業会社等の基幹システム(情報社会インフラ)
 - 航空局の全国空港網システム(交通社会インフラ)
- 自社製品開発と販売事業
 - GAFAに潰されず、日本が元気になる製品
 - IT大手企業が真似できない製品
 - 世界に類を見ない技術を搭載の「SMART Gateway」を開発


ボスコ・テクノロジーズの業歴

- 全期黒字・無借金経営
- 純利益23%以上



最先端の技術開発を追求

- 最高峰の学会活動で自分たちの開発技術を検証
 - 本当に最先端か？
 - 本当にユニークな技術か？
- 東京工業大学を始めとする大学と共同研究
 - 社会インフラの課題を研究にフィードバックできること（その逆も期待できること）
 - 共同研究させていただく先生に注目
 - 一緒に研究開発を進められるかが重要



② 代表の林經正が大切にしていること

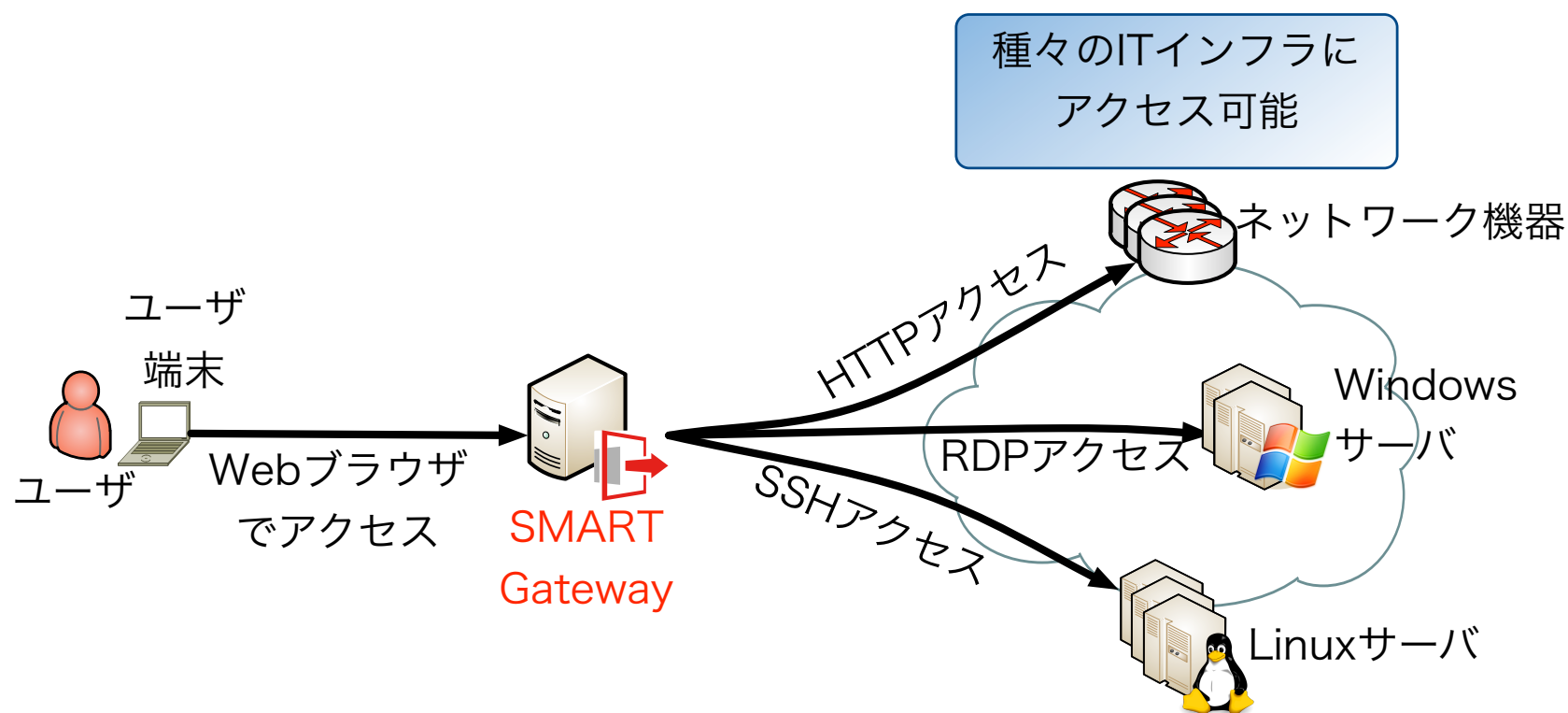
代表の林經正が大切にしていること

1. 次の経営者、日本のリーダを育てたい
 - 各人が自立して生きていける
 - 答えのない中でゴールを設定できる
 - 先頭を走れる(率いれる)
 - 判断でき、責任を取れる
 - 関係者に伝えられる
2. 会社に必要な情報を徹底的に見える化
3. 社員誰もが、IT技術の本質を把握
 - アプリ&サーバ技術
 - ネットワーク技術
4. 社員誰もが、自社製品の構築、不具合対応が可能

③ 蔵前ベンチャー賞で評価いただいた事業
「SMART Gateway」自社製品事業

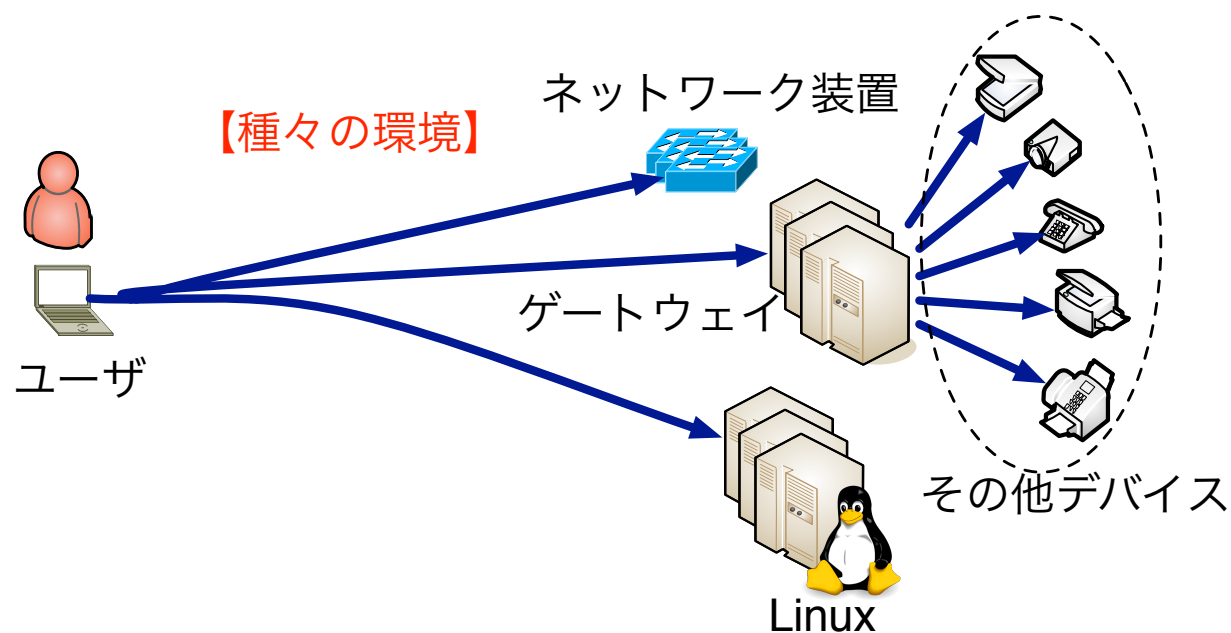
SMART Gatewayとは

- 管理対象となるコンピュータやネットワーク装置に対して、ユーザ毎に管理対象上の業務を制御、作業業務ログを見える化できる「踏み台サーバ」



ログ管理、不正業務制御に求められる3つの事項

- 環境に依存しないログ取得、業務制御では、
→① 新しいITインフラ設備、新しいOS、ミドルウェアに対応



- 今後、より多くのITインフラ設備、ITサービスの管理が必要
→② よりシンプルで容易な管理が可能
- 有事の事態に状況把握が必要
→③ 操作の完全再現と、不正や操作ミス分析が容易

典型的な特徴

- 利用コマンド制限においては、管理対象は、OSや機器を選ばない【**世界唯一**】
 - ssh / telnetログイン後の利用コマンドを制限し、ログ記録
- httpsを利用したセキュアで導入が楽なVPNを提供
 - ブラウザを介してファイル送受信が可能【**世界初(確認中)**】
→**クライアントレスVPNを提供!**
 - ICTインフラ管理を統合可能
- WindowsGUI操作の裏側のあらゆる動きを監視
 - Windows上の操作をテキスト形式のログで管理し、
様々な不正抑止アクションを実施可能

「SMART Gateway」の実績例



東洋ビジネスエンジニアリング株式会社



お客様の声

【国土交通省】

- サーバやネットワーク機器上の操作ミスを削減
- 不正ログイン後の不正操作履歴を記録
実際の操作とその結果を正確に把握し、分析
- パスワード更新管理の負荷を減らし、正確に管理
- 既存のシステム運用に影響を与えず機器を管理

【メガバンク2行】

- 各オペレータが各サーバでの作業録を定期的に
レポートする負荷を軽減
- 有事の事態に、実際に行われた操作を容易に記録・分析
- 既存のシステム運用に影響を与えず機器を管理

学会活等

- 国際学会APNOMS2017にてKey Note Speech
「IT Management of IoT era」と題して講演
- 電子情報通信学会・2019年全国大会・企画セッション
にて講演予定
「仮想ネットワークの運用・管理・制御の自動化技術」
 - 日時：2019年3月20日（水）13:00～17:00
 - 場所：早稲田大学

まとめ

- 経営理念：
 - 技術で人を幸せにする
- 会社概要：
 - 自動化、リソース割当最適化を追求しつつ、
情報社会インフラの基幹システムを開発・運用
- 自社製品事業：
「SMART Gateway」
 - GAFAに潰されず、日本が元気になる製品、ビジネス作り
 - 今後は世界展開を推進

